

工 事 番 号							
設計年度	令和3年度	橋梁補修工事（市道大和町松尾線松尾橋） 三原市 大和町大草					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
施工内容 橋梁補修 N=1橋 断面修復工 V=1.259m3 表面含浸工 A=38.63m2 橋面防水工 A=33.75m2							

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市大和町大草 橋梁補修工事(市道大和町松尾線松尾橋)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和2年8月）広島版**※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・ その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第2章 施工条件

第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限

施工内容	工事全般
時期	全工事期間
時間	調整による
施工方法・理由	工事箇所が生活道路であるため、調整を十分に行い理解を得たうえで施工を行うこと。

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 工事用道路

- 1 一般道路

使用期間	工事施工期間
使用時間	8時～17時
工事中・後の処理	随時 清掃， 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第4節 建設副産物

1 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第5節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場所 受注者が責任をもって確保すること。

2 新技術・新工法・特許工法の指定

1) 表面保護工における表面含浸材料は、アクアシール1400（NETIS番号 KT-070047-VR）を見込んでいる。

3 各補修工の事前調査

1) 受注者は、洗浄後に本図をもとに詳細計測、試験を行い、補修数量の協議を発注者で行った後、補修を行うこと。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和2年8月）『1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 工事保険等

第1節 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付きなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第5章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事		式	1	レベル1
舗装工		式	1	レベル2
舗装打換え工		式	1	レベル3
舗装版切断	As舗装, t 15cm	式	1	レベル4
舗装版破碎(小規模)	As	m2	34	レベル4
殻運搬	As	m3	2	レベル4
殻処分	As	m3	2	レベル4
表層	再生密粒度As, t=5cm	m2	34	レベル4
橋梁付属物工		式	1	レベル2
伸縮継手工		式	1	レベル3
伸縮部止水処理	シーリング材(ポリブタジエン系)	m	10.6	レベル4
排水施設工		式	1	レベル3
排水管	一般構造用角形鋼管(SKTR400) 100×50×2.3	m	2	レベル4
水切設置	後付型水切材	m	12	レベル4
橋梁補修工		式	1	レベル2
橋梁地覆補修工		式	1	レベル3
橋梁地覆とりこわし		m3	0.1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
コンクリート	0.3×0.2×0.2, 24N	m3	0.1	レベル4
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む	構造物	1	レベル4
表面保護工		式	1	レベル3
下地処理		橋	1	レベル4
表面含浸	シラン系	m2	39	レベル4
橋面防水工		式	1	レベル3
シート系防水		m2	34	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	Co	m3	1	レベル4
殻処分	Co(無筋)	m3	1	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	6	レベル4
直接工事費				
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
技術管理費		式	1	レベル3
施工調査費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				
** 消費税相当額 **				
** 工事費計 **				
** 契約保証費計 **				

補修図 (松尾橋) (その1) S=1/30

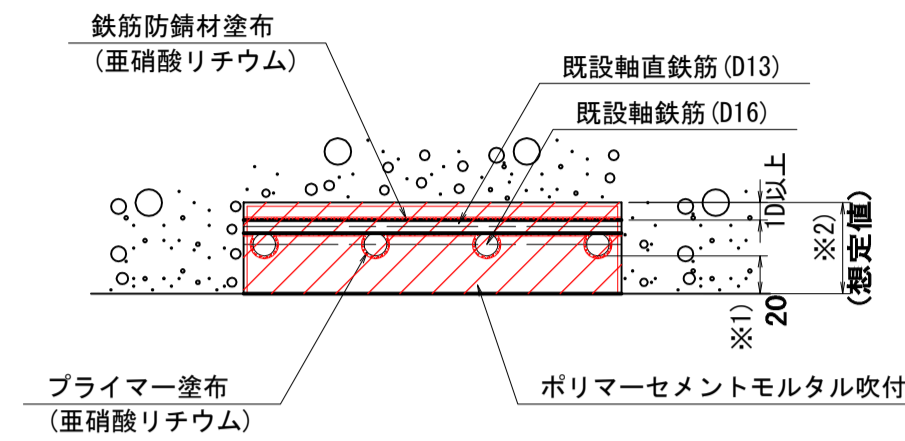
上部工

(断面修復工・表面保護工・水切設置工)

断面修復工詳細図

(吹き付け工法)

復旧図

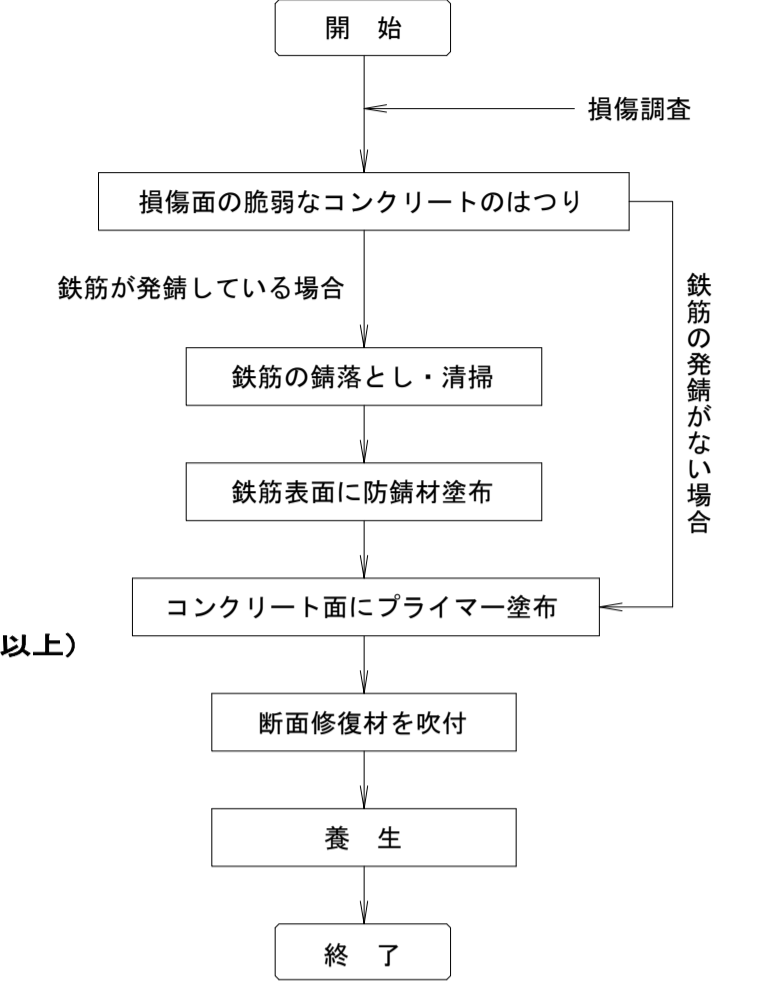


※1) かぶり: S55コンクリート標準示方書、現地調査結果 参照
 ※2) 上部工: 70mm=25mm(かぶり)+45mm(軸鉄筋φ16+軸直鉄筋φ13+1D以上)

材料表

工種	仕様
プライマー・鋼材防錆処理工	亜硝酸リチウム
断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材

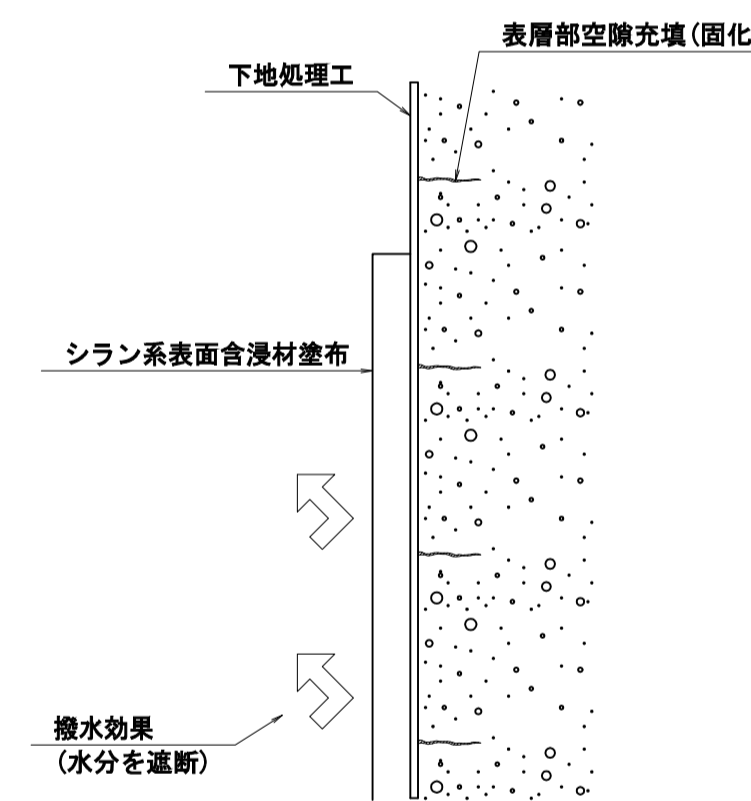
施工フロー



注記) 1. 鉄筋腐食が著しく断面欠損している場合には、補強鉄筋を設置する。

表面保護工詳細図

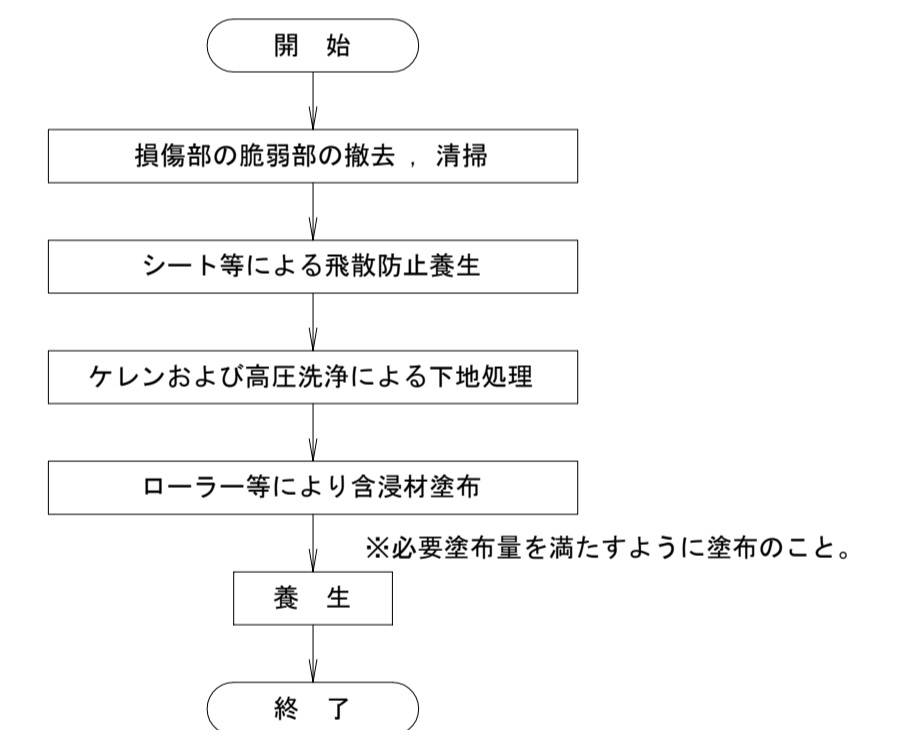
(表面含浸材塗布)



材料表

工種	仕様
表面含浸工	シリラン系表面含浸材

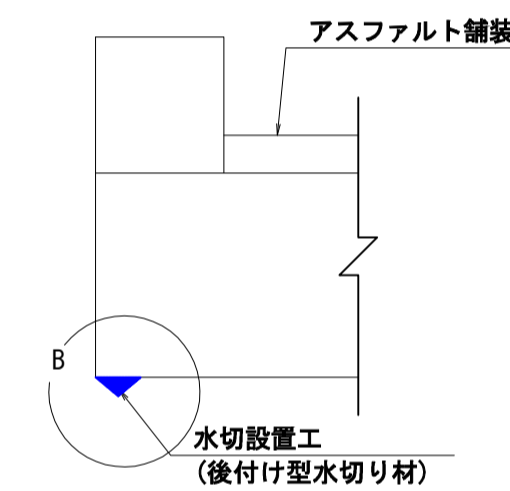
施工フロー



- 注記)
- 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
 - 施工時には、天候に十分注意をすること。
 - 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - はつり後、鉄筋発錆がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
 - はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
 - はく落防止として必要であればメッシュ等を配置し対応すること。
 - 防錆材は塗り残しがないよう入念に行うこと。
 - はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリート面と修復材との間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
 - コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり線等の落下を防ぐよう防護すること。
 - はつり後、ひび割れ損傷が深層部にて確認される場合は、ひびわれ注入工と併用し施工すること。
 - 表面含浸材塗布前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清掃し、汚れやエフロレッセンスなどを除去すること。
 - 表面含浸材塗布前にはO損傷部は事前に補修を施すこと。
 - 必要塗布量を満たすように塗布すること。

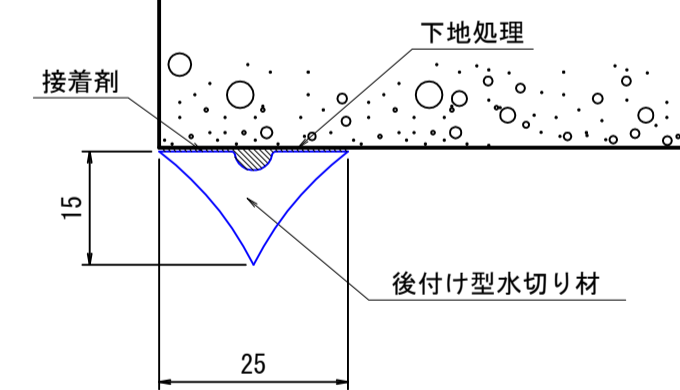
工事名	橋梁補修工事 (市道大和町松尾橋松尾橋)		
図面名	補修図 (松尾橋) (その1)		
作成年月日	令和 2年 3月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 5
会社名	三原市		
事業者名	建設部 土木整備課 維持改良係		

水切設置工 A-A部詳細図



注記) 含浸材は、断面修復工の有無に関わらず、床版の下面および側面全体に対して塗布すること。

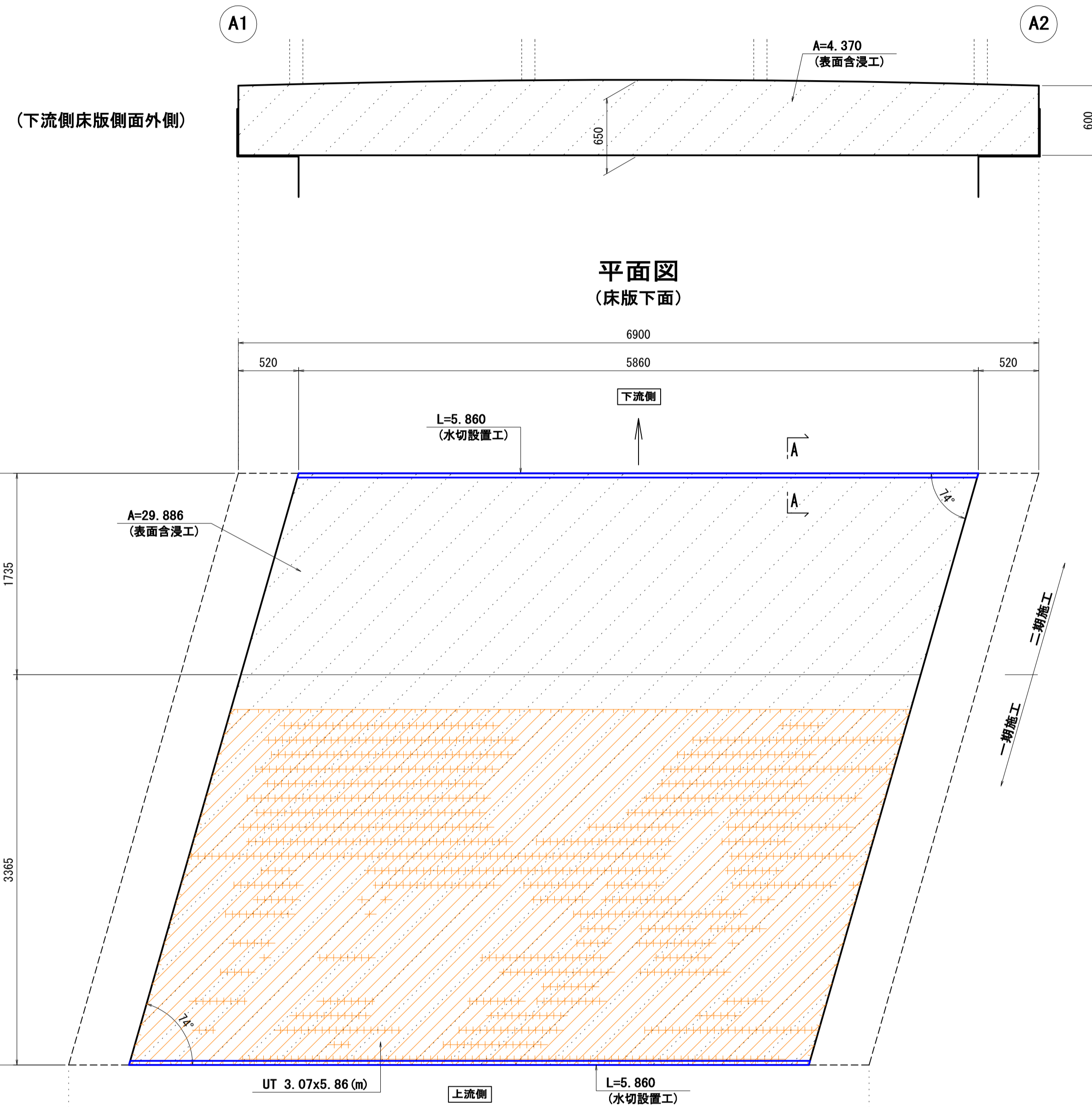
B部詳細図



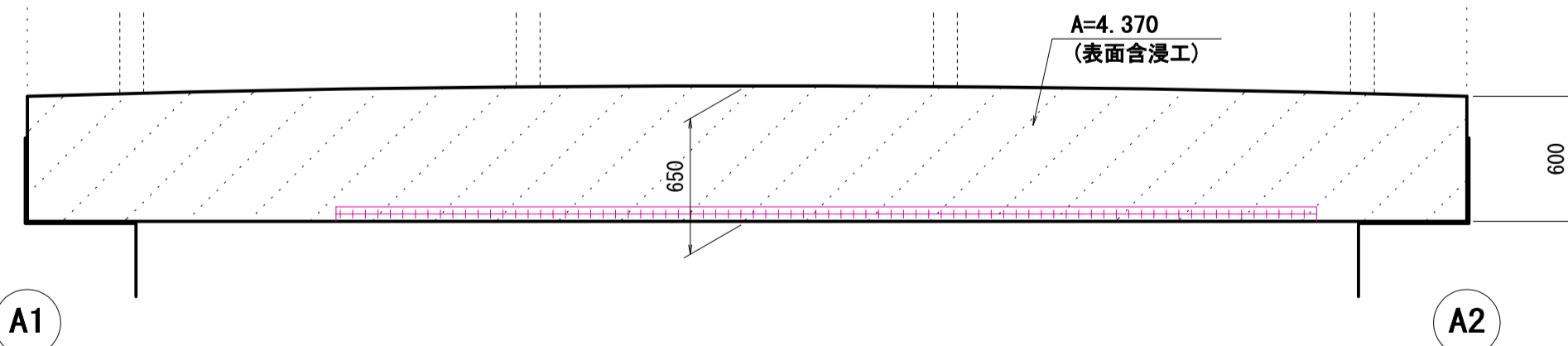
- 注記)
- ディスクサンダーまたはブラシ等によるケレンを行い、コンクリート表面の塵埃、油脂等の汚れを除去すること。必要に応じてフローも併用すること。
 - 接着剤を塗った水切り材をコンクリート表面に押し付けて取り付けること。
 - コンクリート表面に汚れが残ると接着不良を起こすので、下地処理は適切に行うこと。

補修工法

工種	細別	規格・材料
断面修復工	はつり工	左官作業
	断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材
表面保護工	下地処理	高圧洗浄
	表面含浸工	シリラン系表面含浸材
水切設置工	下地処理	サンダーケレン
	水切設置工	後付け型水切り材



(上流側床版側面外側)



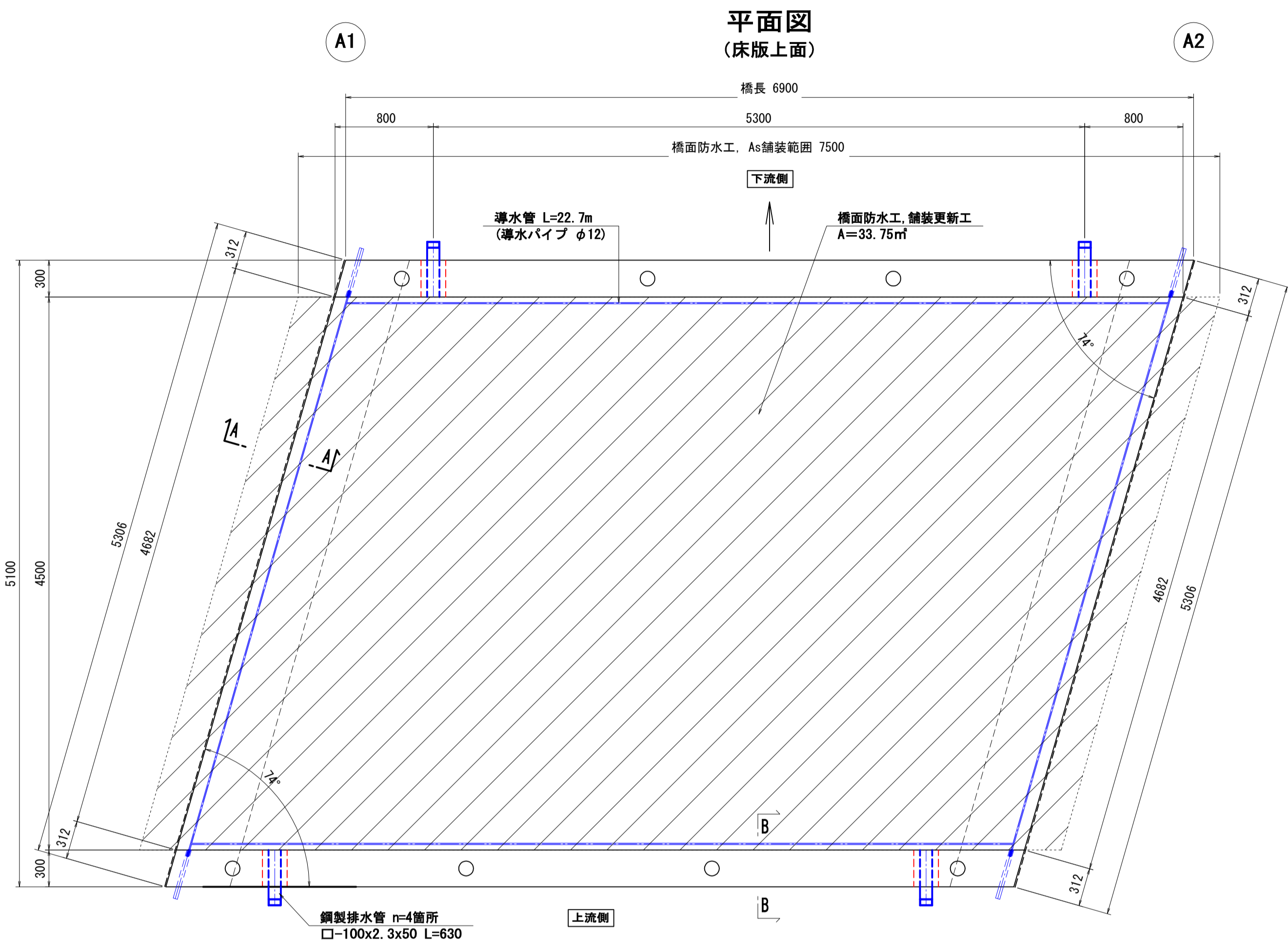
凡例

UT	コンクリートの浮き・局部的剝離鉄筋: 断面修復工にて補修を示す。
HT	コンクリートの剝離・鉄筋露出: 断面修復工にて補修を示す。
	表面含浸工塗布部分を示す。

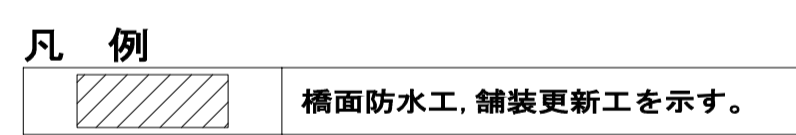
補修図 (松尾橋) (その2) S=1/30

上部工

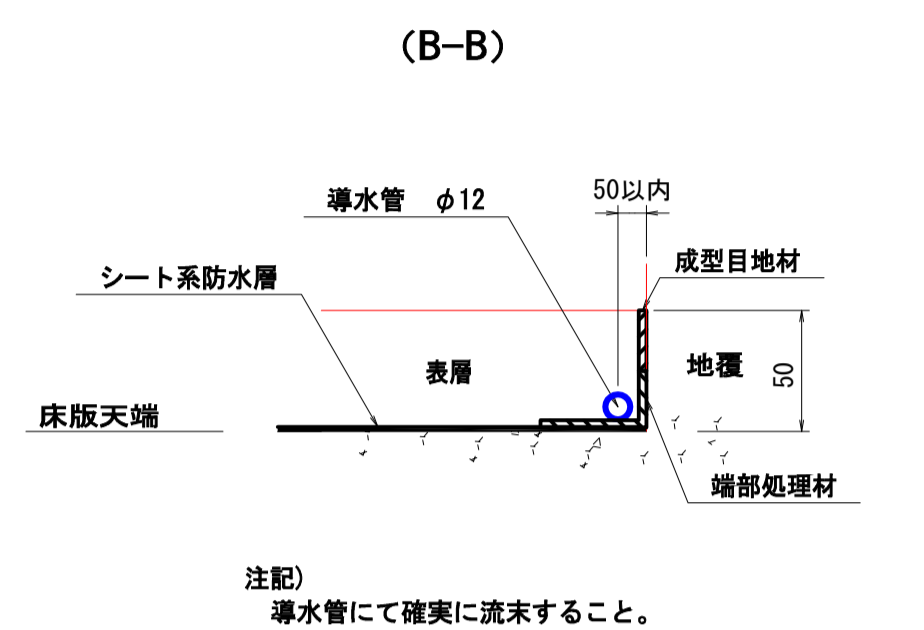
(橋面防水工・排水管設置工・伸縮止水工・舗装更新工)



※注記
排水装置位置は現地調査の上、護岸に干渉しない位置に設置すること。

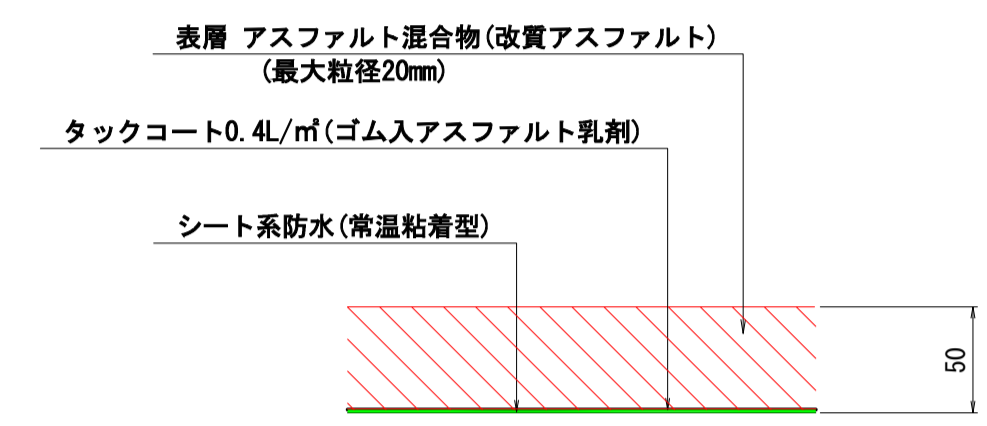


橋面防水工端部処理詳細図 S=1:5



注記
導水管にて確実に流末すること。

舗装構成詳細図 S=1:5

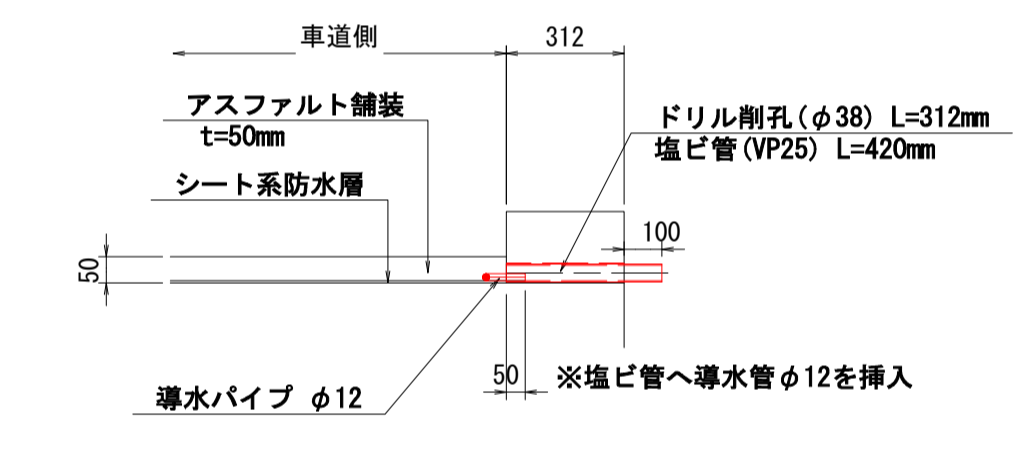


注記
中国地盤土工学マニュアル(H31年)参考

補修工法

工種	細別	規格・材料
橋面防水工	シート系防水	シート系防水(常温粘着型)
	縦横断導水管	スプリング管φ12
	成型目地材	-
	端部処理材	-
	鉄筋探査工	-
	流末処理	塩ビ管 VP25
排水管設置工	削孔	ドリル削孔 φ38
	エポキシ樹脂充填	エポキシ樹脂
	はつり工	左官作業
伸縮止水工	伸縮部止水処理	シーリング材(ポリブタジエン系)
	カッター工	-
舗装更新工	舗装版撤去	アスファルト舗装 t=50
	アスファルト舗装工	アスファルト混合物(改質アスファルト 20)

流末処理詳細図 S=1:20

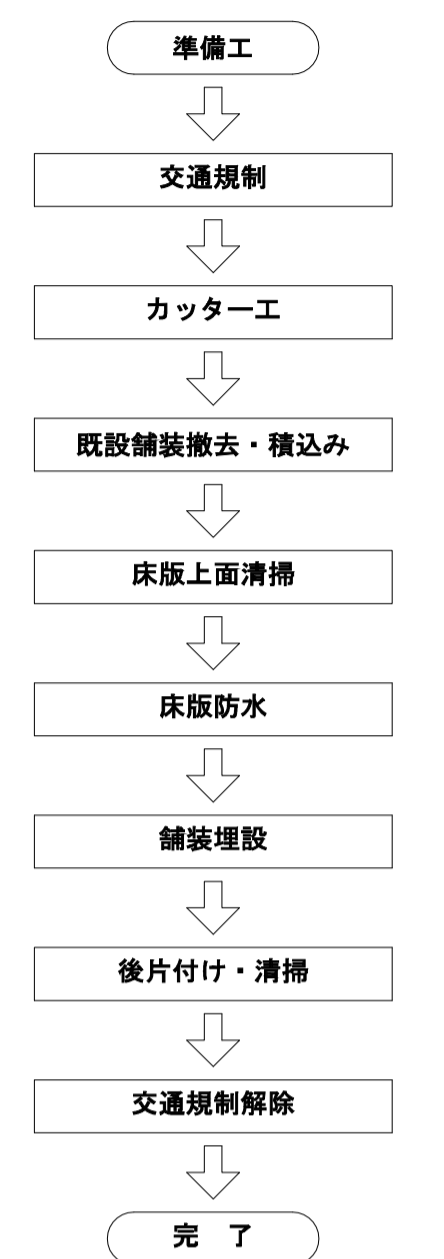


流末処理数量表

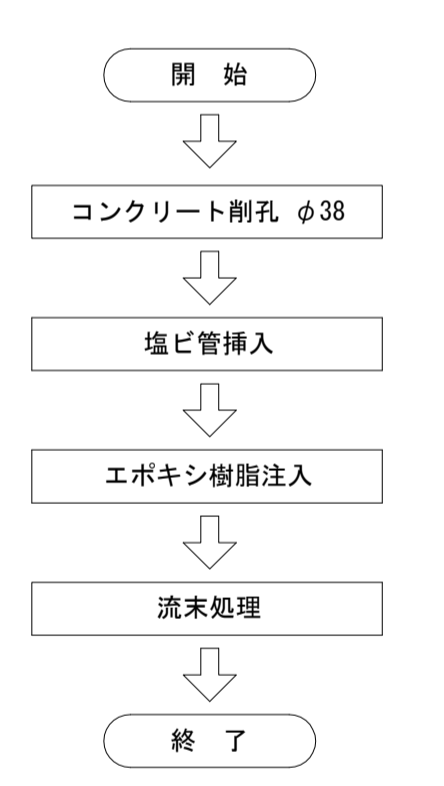
細別	規格	数量	摘要
ドリル削孔	φ38	4 孔	L=420mm x 4
塩ビ管	VP25	1.7 m	
エポキシ樹脂注入		0.001 m³	

※注記
1. 流末処理の数量は、調査結果を元に算出している。施工に際しては現場状況に合わせて適宜変更のこと。
2. コンクリートを削孔する際には鉄筋探査を行い、既設鉄筋に干渉しないよう施工すること。

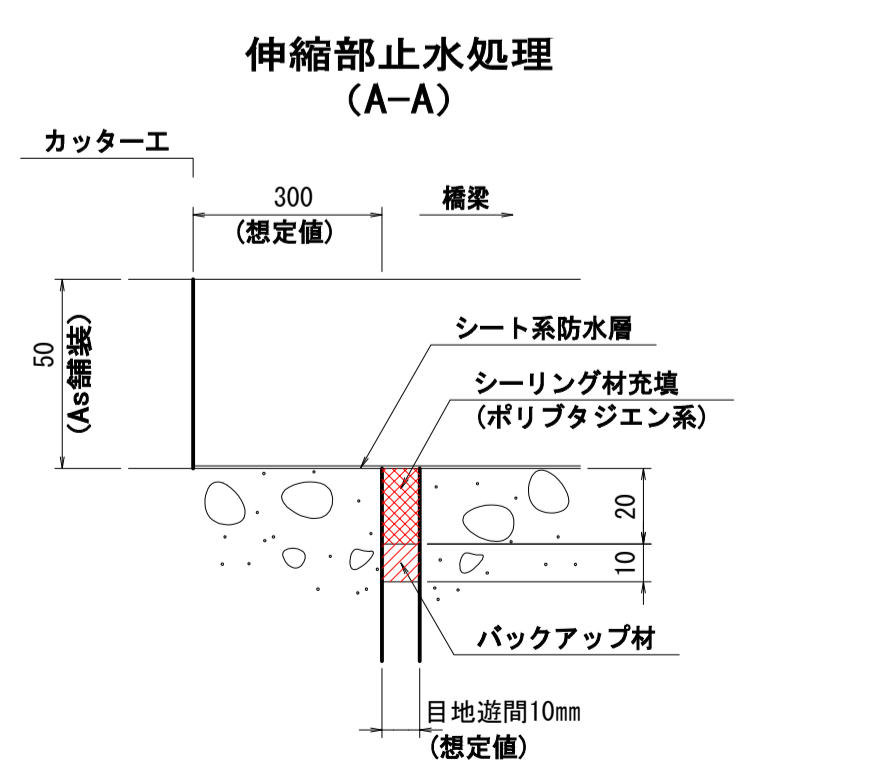
床版防水 施工フロー



流末部 施工フロー

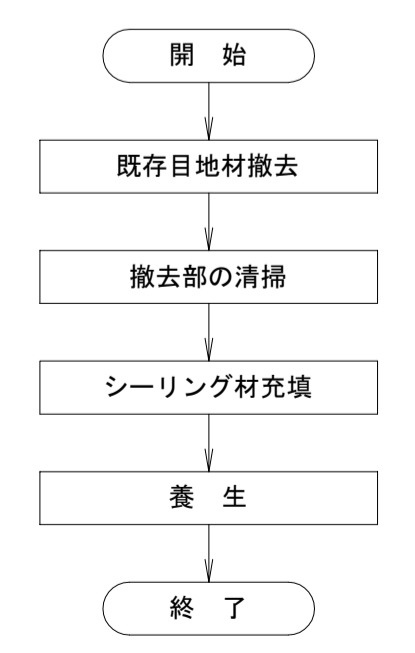


伸縮止水工詳細図 S=1:2

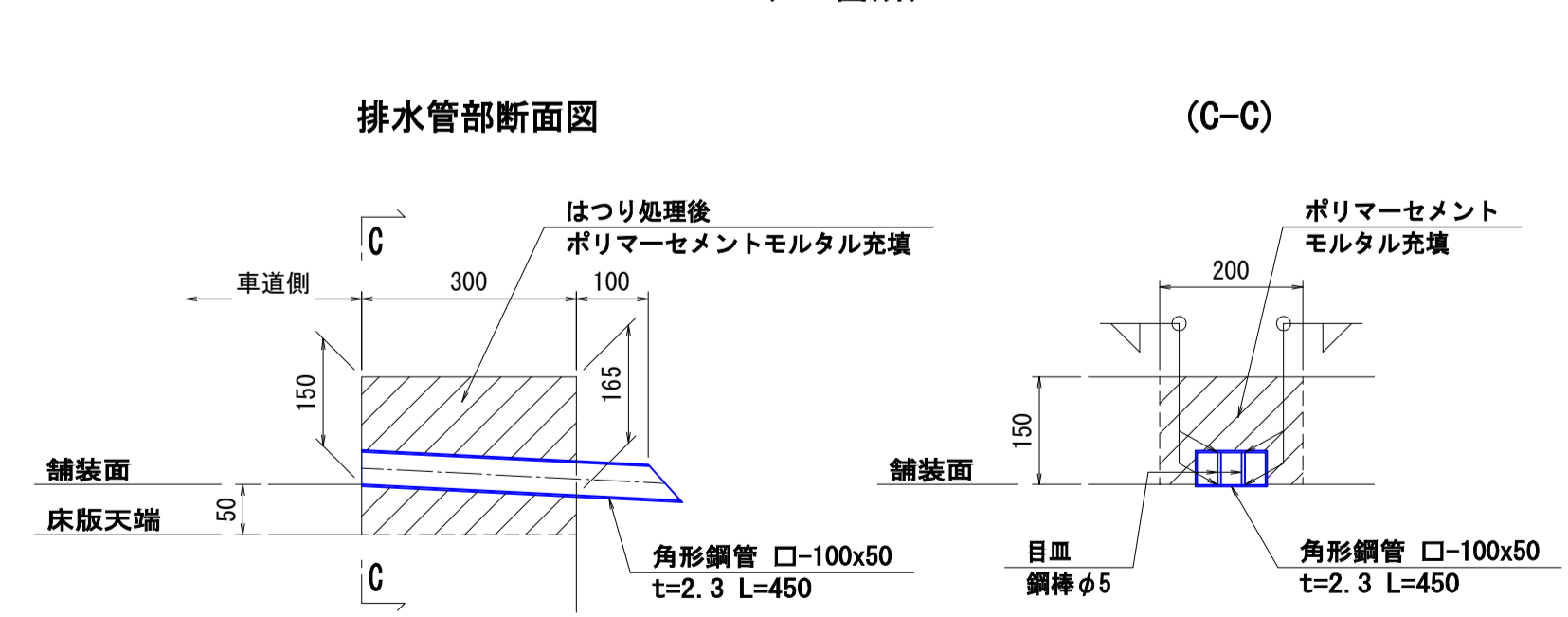


注記
1. 既存目地材表層部においては切削の上、撤去すること。
2. 背面側300mmはパラペット上を想定しており、施工時に現地計測の上、決定すること。

伸縮止水 施工フロー

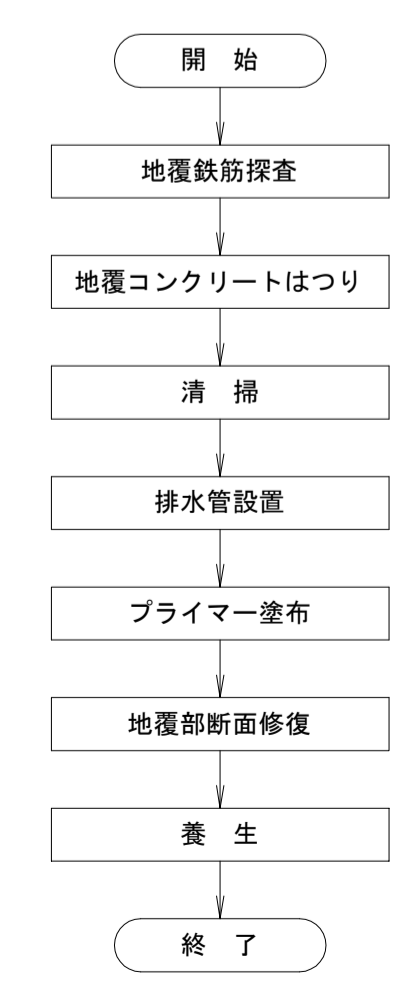


排水管設置工詳細図 S=1:10



注) 1. コンクリートをはつる際には鉄筋探査を行い、既設鉄筋に干渉しないよう施工すること。
2. 排水管位置は鉄筋探査状況等により調整すること。
3. はつり処理後はエアークリーンなどで付着した粉塵等を十分除去すること。

排水管 施工フロー



注記
1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
2. 施工時には、天候に十分注意すること。
3. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
4. 現構舗装撤去時は床版を損なわないよう施すこと。
5. 舗装撤去後、著しく床版上面が損傷している場合は別途対策を講じること。(要発注者協議)
6. 導水管の継手重ね幅は、5cm以上とする。
7. 流末部に確実に流末されるよう、現地に調整し設置すること。
8. 地覆削孔時に鉄筋を切断することがなきよう鉄筋探査等を実施し削孔すること。

工事名	橋梁補修工事 (市道大和町松尾線松尾橋)		
図面名	補修図 (松尾橋) (その2)		
作成年月日	令和 2年 3月		
縮尺	図示	図面番号	5 / 5
会社名	三原市		
事業者名	建設部 土木整備課 維持改良係		

参 考 资 料

— 橋梁補修工事（市道大和町松尾線松尾橋） —

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 48 三原市(大和) 00-03.07.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co・・・コンクリート As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック BH・・・バックホウ CC・・・クローラークレーン TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G030402 レベル3
舗装版切断 As舗装, t 15cm	1	式			Y1G03040201 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	11	m			SPK20040308 00
舗装版破碎(小規模) As	11	m			単第0 -0001 表 Y1G03040203 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	34	m2			SPK20040018 00
殻運搬 As	34	m2			単第0 -0002 表 Y1G03040205 レベル4
	2	m3			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(小規模土工) DID区間無し 運搬距離12.0km以下(9.0km超)	2	m3			SPK20040146 00 単第0 -0003 表
殻処分 As	2	m3			Y1G03040206 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
殻受入れ費 As	4	t			F0041002001 00
表層 再生密粒度As, t=5cm	34	m2			Y1G03040211 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	34	m2			SPK20040241 00 単第0 -0004 表
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
伸縮継手工	1	式			Y1G032101 レベル3
伸縮部止水処理 シーリング材(ポリブタジエン系)	10.6	m			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
伸縮部止水処理 シーリング材(ポリブタジエン系)	1	構造物			V032101 00 単第0 -0005 表
排水施設工	1	式			Y1G032103 レベル3
排水管 一般構造用角形鋼管(SKTR400) 100×50×2.3	2	m			Y1G03210302 レベル4
一般構造用角形鋼管<JISG3466> STKR400, 辺100×50mm, 厚2.3mm, 長6.0, 8.0m 単位質量5.14kg/m	9.3	kg			TH001694 00
水切設置 後付型水切材	12	m			Y4999 レベル4
チップング	0.3	m2			V03210301 00 単第0 -0007 表
水切材設置 後付型水切材	12	m			V03210302 00 単第0 -0008 表
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
橋梁地覆補修工	1	式			Y1G032401 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁地覆とりこわし	0.1	m3			Y1G03240101 レベル4
とりこわし	0.1	m3			SPK20040335 00 単第0 -0009 表
コンクリート 0.3×0.2×0.2, 24N	0.1	m3			Y1G03240103 レベル4
コンクリート_橋梁地覆補修 24-12-25(20)BB 養生工有り	0.1	m3			SPK20040337 00 単第0 -0010 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・防錆処理を含む) 修復延べ体積1.259m3	1	構造物			V1020041 00 単第0 -0011 表
表面保護工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理	1	橋			Y1G03240601 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面被覆工(塗装工法)下地処理					S3030045 00
	1	橋			単第0 -0013 表
表面含浸 シラン系					Y4999 レベル4
	39	m2			
表面含浸 シラン系, 塗布量0.20kg/m2 アクアシーラ1400相当品					V3030053 00
	39	m2			単第0 -0014 表
橋面防水工					Y3999 レベル3
	1	式			
シート系防水					Y4999 レベル4
	34	m2			
橋面防水 シート系防水(常温粘着型) A=33.75m2					V00025101 00
	1	橋			単第0 -0015 表
流末処理 VP 25×420 N=4箇所					V00025102 00
	1	橋			単第0 -0017 表
構造物撤去工					Y1G0327 レベル2
	1	式			
運搬処理工					Y1G032716 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co	1	m3			Y1G03271601 レベル4
積込(コンクリート殻)	1	m3			SPK20040113 00 単第0 -0020 表
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 人力積込 DID区間無し 運搬距離6.5km以下(5.0km超)	1	m3			SPK20040146 00 単第0 -0021 表
殻処分 Co(無筋)	1	m3			Y1G03271602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
殻受入れ費 Co(無筋)	3	t			F0041001001 00
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
交通誘導警備員	6	人			Y1G03282101 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B					R0369 00
	6	人			
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
	1	式			
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
施工調査費					YZZ06001006 レベル4
	1	式			
鉄筋探査工 下向き					V6001006 00
	1	m2			単第0 -0022 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					

施工単価表

舗装版切断

SPK20040308

単第0 -0001 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.29%

労務構成比:

54.24%

材料構成比: 39.47%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

558.10000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	4.25%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.56%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	36.63%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK20040018

単第0 -0002 表

頁0 -0013

機械構成比: 23.75% 労務構成比: 68.21% 材料構成比: 8.04% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,518.00000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	23.75%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	68.21%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.04%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬

SPK20040146

単第0 -0003 表

舗装版破碎 機械積込(小規模土工)

DID区間無し 運搬距離12.0km以下(9.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 20.04% 労務構成比:

70.36% 材料構成比: 9.60%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

6,553.10000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.04%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	70.36%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.60%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=5 機械積込(小規模土工) D=52 運搬距離12.0km以下(9.0km超)		

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK20040241

単第0 -0004 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.64%

労務構成比:

10.16%

材料構成比: 88.20%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,480.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.05%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.17%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.17%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.71%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.12%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK20040241

単第0 -0004 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.64%

労務構成比: 10.16%

材料構成比: 88.20%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,480.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	84.96%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.65%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.50%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

チップング

V03210301

単第0 -0007 表

頁0 -0019

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	1.5	人			
雑材料	11	%			#01
*** 合計 ***	7	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

7
m2 当り

施工単価表

とりこわし

SPK20040335

単第0 -0009 表

機械構成比: 1.93% 労務構成比: 94.93% 材料構成比: 3.14% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m3 当り 80,963.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5~3.7m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.52%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5~3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.41%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		MTPC00037 MTPT00037
特殊作業員	43.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	35.44%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.36%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.14%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1	-(全ての費用)				

施工単価表

コンクリート_橋梁地覆補修

SPK20040337

単第0 -0010 表

24-12-25(20)BB

養生工有り

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

72.75%

材料構成比: 27.25%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

55,472.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	25.98%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.48%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	5.23%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	27.25%		生コンクリート 普通 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00342
積算単価			積算単価		E9999
A=2 24-12-25(20)BB D=1 -			C=1 養生工有り E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0031

コンクリート削孔(電動ハンマドリル40mm)

SPK20040114

単第0 -0018 表

削孔深さ200mm以上400mm以下

1

孔 当り

機械構成比: 2.57% 労務構成比: 95.31%

材料構成比: 2.12%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

854.85000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.10%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
電動ハンマドリル 穴あけ能力 40mm	0.96%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 40mm		MTPC00137 MTPT00137
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.70%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

積込(コンクリート殻)

SPK20040113

単第0 -0020 表

機械構成比: 8.99% 労務構成比: 87.04% 材料構成比: 3.97% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,073.70000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.8/平積0.6m3	8.99%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00012 MTPT00012
普通作業員	78.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	8.42%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.97%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬

SPK20040146

単第0 -0021 表

Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 人力積込

DID区間無し 運搬距離6.5km以下(5.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 20.12% 労務構成比: 70.66%

材料構成比: 9.22%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,713.00000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	70.66%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.22%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 E=1	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し -(全ての費用)		B=2 D=30	人力積込 運搬距離6.5km以下(5.0km超)	

施工単価表

鉄筋探査工
下向き

V6001006

単第0 -0022 表

頁0 -0036

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師 (A)	1	人			
技師 (B)	2	人			
技師 (C)	2	人			
雑材料	5	%			#01
*** 合計 ***	18	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

18 m2 当り

6.1 数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	合 計	備 考
上部工	舗装更新工	舗装版切断工	カッター工	m	10.6	
		舗装版取壊し	As舗装(50mm)	m ²	33.8	1.69 m ³
		ガラ運搬処分	As舗装	m ³	1.7	重量 = 3.97 t
		アスファルト舗装工	t=50.0mm	m ²	33.8	
	伸縮止水工	伸縮部止水処理	シーリング材(ポリブタジエン系)	m	10.6	重量 = 3.035 kg
	排水管設置工	排水管設置	角形鋼管 (□-100x50x2.3)	m	1.8	重量 = 9.252 kg
	水切設置工	下地処理	サンダーまたはブラシ等	m ²	0.29	
		水切設置工	後付け型水切り材	m	11.72	
	地覆補修工	とりこわし		m ³	0.05	鉄筋探査工 0.6m ²
		ガラ運搬処分	コンクリート殻	m ³	0.05	重量 = 0.13 t
		コンクリート	24N	m ³	0.05	
	断面修復工	はつり殻(人力運搬)		m ³	1.3	重量 = 3.15 t
		断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材 (亜硝酸リチウム混入)	m ²	17.99	V = 1.259 m ³
		亜硝酸リチウム		kg	9.09	
	表面保護工	下地処理	サンダーケレン	m ²	38.63	
		表面被覆工	シラン系表面含浸材	m ²	38.63	
	橋面防水工	シート系防水層	シート系防水(常温粘着型)	m ²	33.8	
		縦横断導水管	スプリング管 φ12	m	22.7	SUS
		成型目地材		m	13.8	
		端部処理材		m	13.8	
		流末処理	塩ビ管 VP25	m	1.7	
削孔		ドリル削孔 φ38	孔	4	鉄筋探査工 0.6m ²	
エポキシ樹脂充填		エポキシ樹脂	m ³	0.001		
安全管理費	交通誘導員	交通誘導員B		人	6	2人/日 3日

6.2 上部工

1. 舗装更新工

1) 舗装版切断工 舗装厚 50 mm (図面参照)

$$L = 4.682 \times 2 \times 0.300 \times 4 = 10.564 \text{ m}$$

2) 舗装版取壊し

$$A = 33.75 = 33.75 \text{ m}^2$$

3) ガラ運搬処分(As舗装)

$$V = 33.75 \times 0.05 = 1.69 \text{ m}^3$$

$$W = 1.69 \times 2.35 \text{ (比重)} = 3.970 \text{ t}$$

4) アスファルト舗装工 舗装厚 50 mm (図面参照)

$$A = 33.75 = 33.75 \text{ m}^2$$

$$W = 33.75 \times 0.050 \times 2.35 \text{ (比重)} = 3.966 \text{ t}$$

2. 伸縮止水工

$$L = 5.306 \times 2 = 10.612 \text{ m}$$

$$W = 0.01 \times 0.02 \times 10.612 \times 1100 \times 1.3 = 3.035 \text{ kg}$$

(延長) (密度 kg/m³) (ロス率)

3. 排水管設置工

1) 排水管 (角形鋼管 □-100x50x2.3) t=5.14kg/m

$$L = 0.45 \times 4 = 1.80 \text{ m}$$

4. 地覆補修工

1) とりこわし

$$V = 0.30 \times 0.20 \times 0.20 \times 4 \text{ 箇所} = 0.05 \text{ m}^3$$

$$A = 0.30 \times 0.50 \times 4 \text{ (鉄筋探査)} = 0.60 \text{ m}^2$$

2) ガラ運搬処分(コンクリート)

$$V = 0.05 = 0.05 \text{ m}^3$$

$$W = 0.05 \times 2.5 \text{ (比重)} = 0.13 \text{ t}$$

3) コンクリート

$$V = 0.05 = 0.05 \text{ m}^3$$

5. 水切設置工 (図面参照)

1) 下地処理 (サンダーまたはブラシ等)

$$A = 5.86 \times 2 \times 0.025 = 0.29 \text{ m}^2$$

2) 水切設置工 (後付け型水切り材)

$$L = 5.86 \times 2 = 11.72 \text{ m}$$

6. 断面修復工

1) はつり殻(人力運搬) (はつり厚 0.07m)

$$V = 3.07 \times 5.86 \times 0.07 = 1.26 \text{ m}^3$$

$$W = 1.26 \times 2.5 \text{ (比重)} = 3.150 \text{ t}$$

2) 断面修復工 (ポリマーセメントモルタル 修復厚 0.07m)

$$A = 3.07 \times 5.86 = 17.99 \text{ m}^2$$

$$V = 3.07 \times 5.86 \times 0.07 = 1.259 \text{ m}^3$$

$$W = 6.12 \times 1.259 \times 1.18 \text{ (ロス率)} = 9.092 \text{ kg}$$

7. 表面保護工

1) 下地処理 (サンダーケレン)

$$A = 29.886 + 4.370 \times 2 = 38.63 \text{ m}^2$$

2) 表面含浸工 (シラン系表面含浸材)

$$A = 38.63 = 38.63 \text{ m}^2$$

8. 橋面防水工(図面参照)

1) シート系防水層

$$A = 33.75 = 33.75 \text{ m}^2$$

2) 縦横断導水管 $\phi 12$ (図面参照)

$$L = 22.70 = 22.70 \text{ m}$$

3) 成形目地材

$$L = 6.90 \times 2 = 13.80 \text{ m}$$

4) 端部処理材 (橋面防水に含む)

$$L = 6.90 \times 2 = 13.80 \text{ m}$$

5) 流末処理 (塩ビ管 VP25) N= 4 箇所

$$L = 0.42 \times 4 \text{ 箇所} = 1.68 \text{ m}$$

6) 削孔 (ドリル削孔 $\phi 38$) L= 312 mm

$$N = 4 = 4 \text{ 箇所}$$

$$A = 0.30 \times 0.50 \times 4 \text{ 箇所 (鉄筋探査)} = 0.60 \text{ m}^2$$

7) エポキシ樹脂充填 L= 312 mm

$$V = (0.019^2 \pi - 0.016^2 \pi) \times 0.312 \times 4 \text{ 箇所} = 0.001 \text{ m}^3$$

$$W = 0.001 \times 1200 \times 1.4 \text{ (注入材)} = 1.68 \text{ kg}$$

(比重 kg/m³) (ロス率)

6.3 安全管理費数量計算書

1. 交通誘導員B

1) 全面通行止め期間

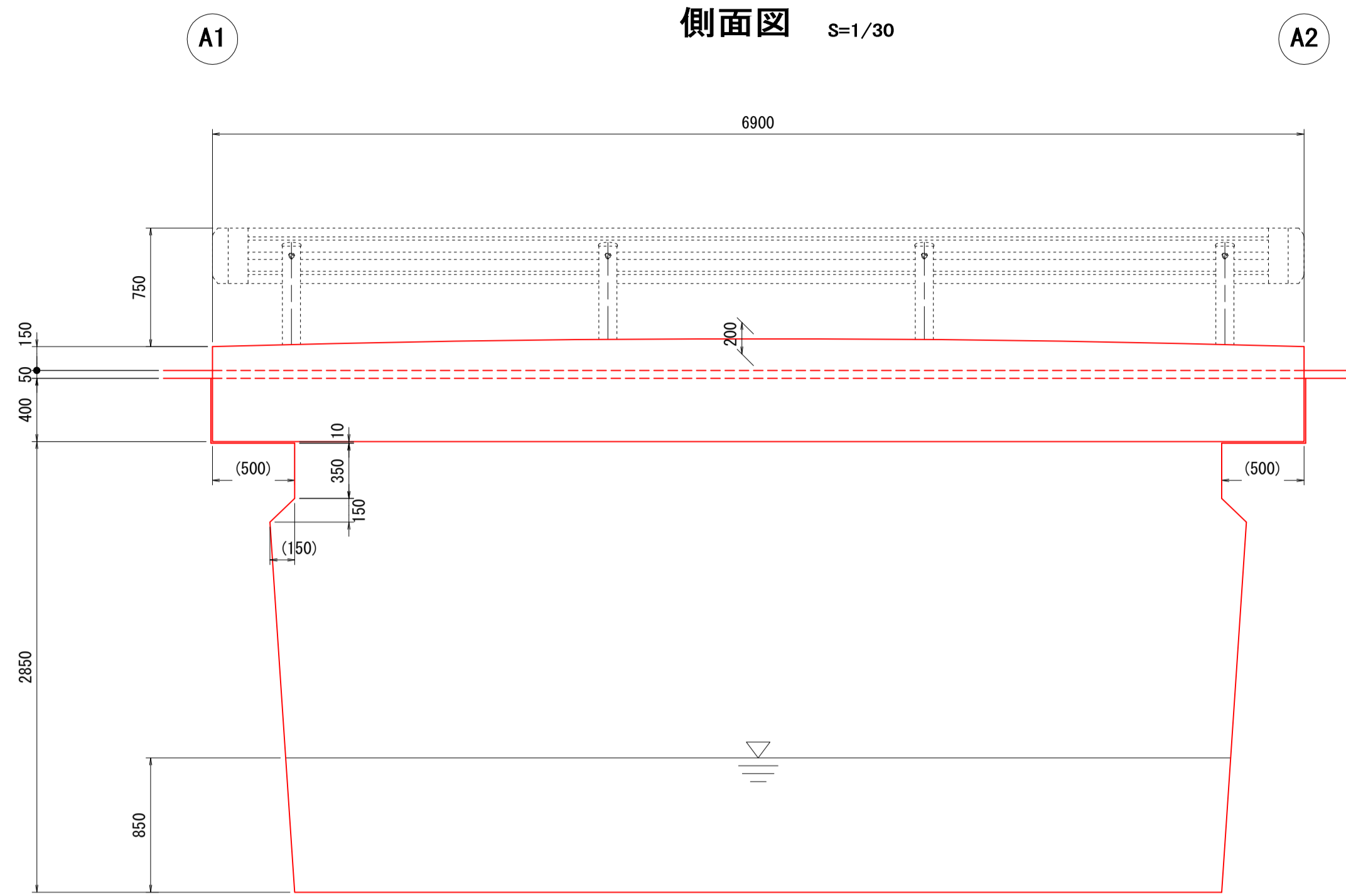
第5章施工計画より

3 日 x 2 人

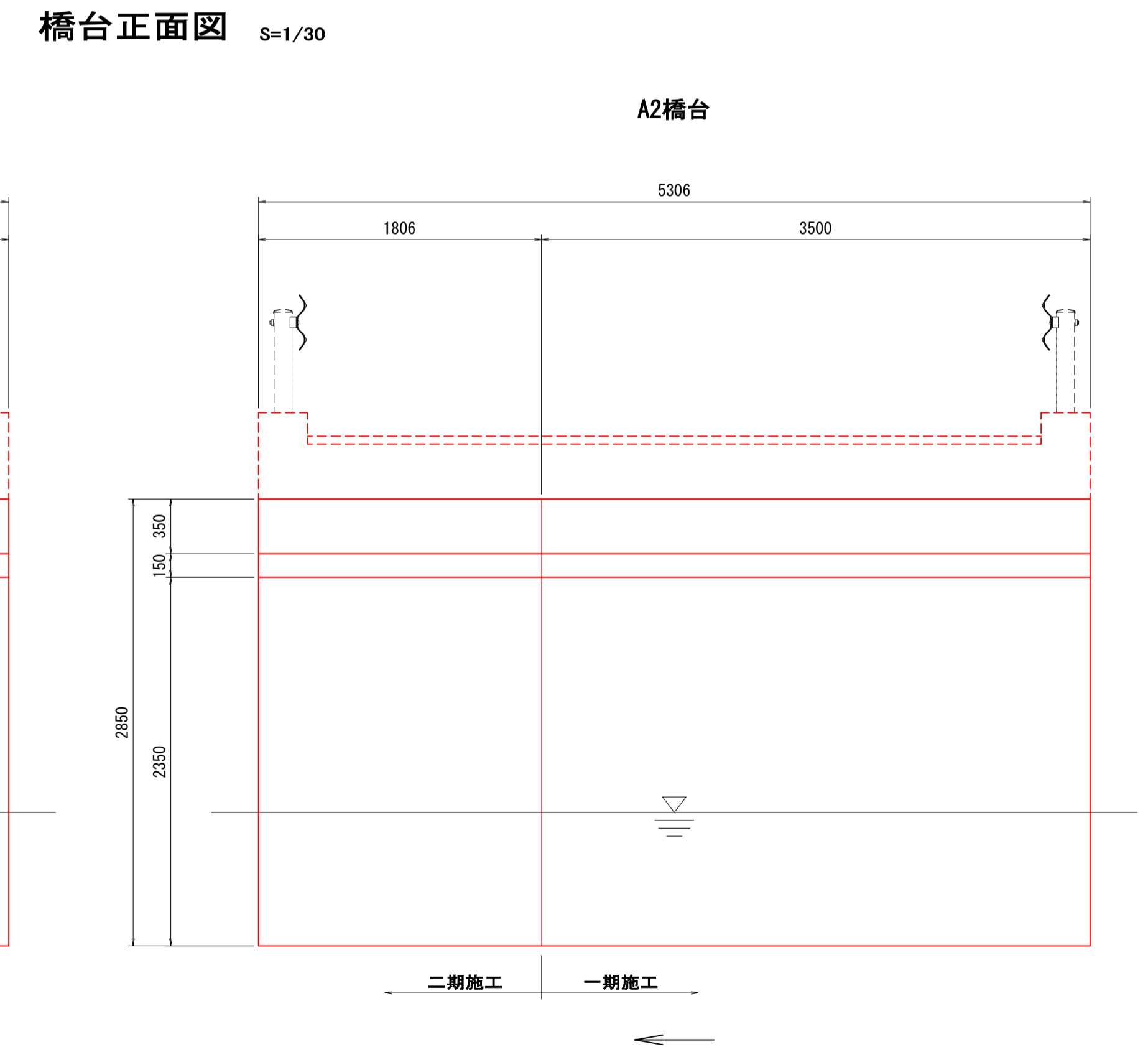
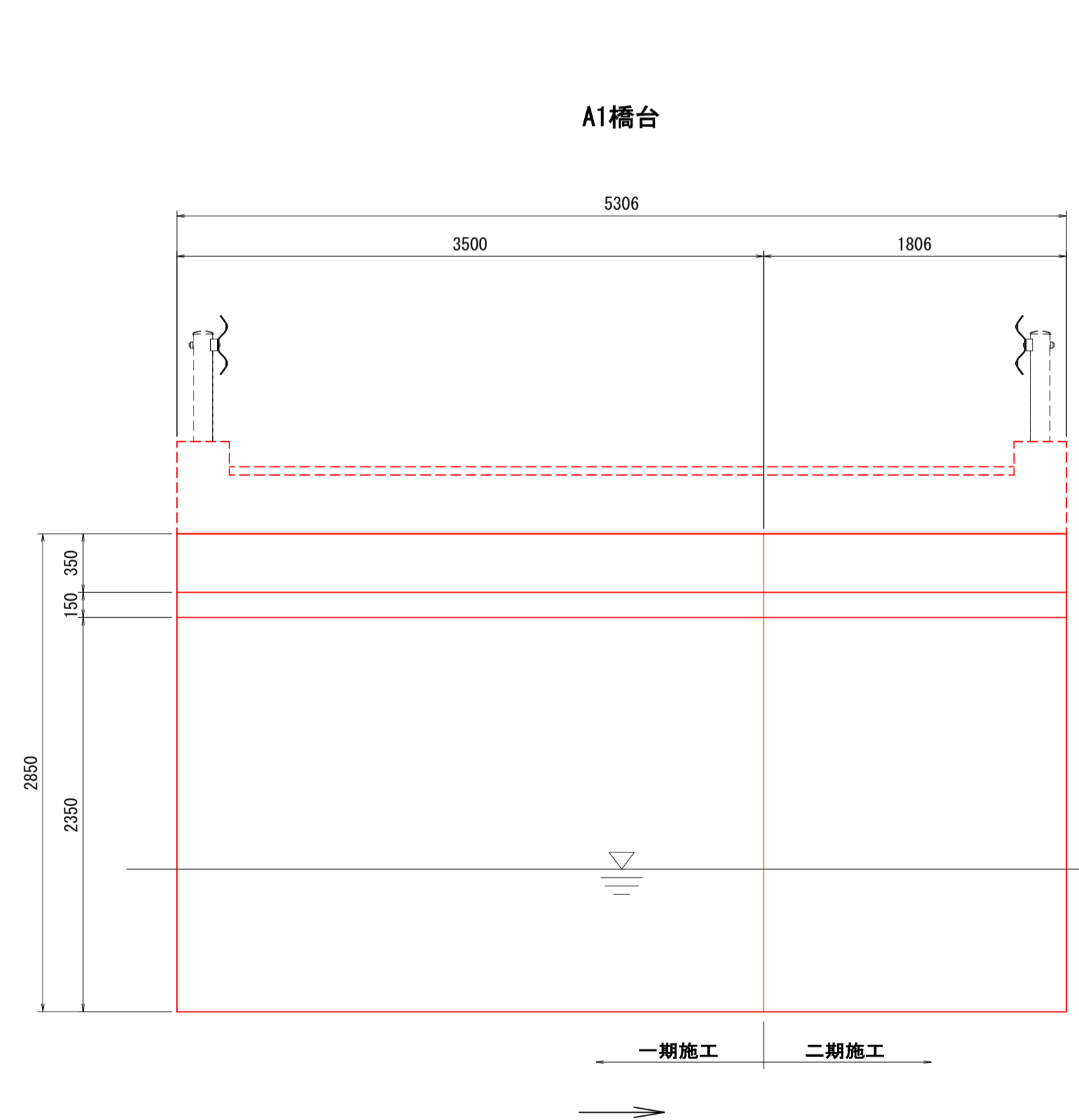
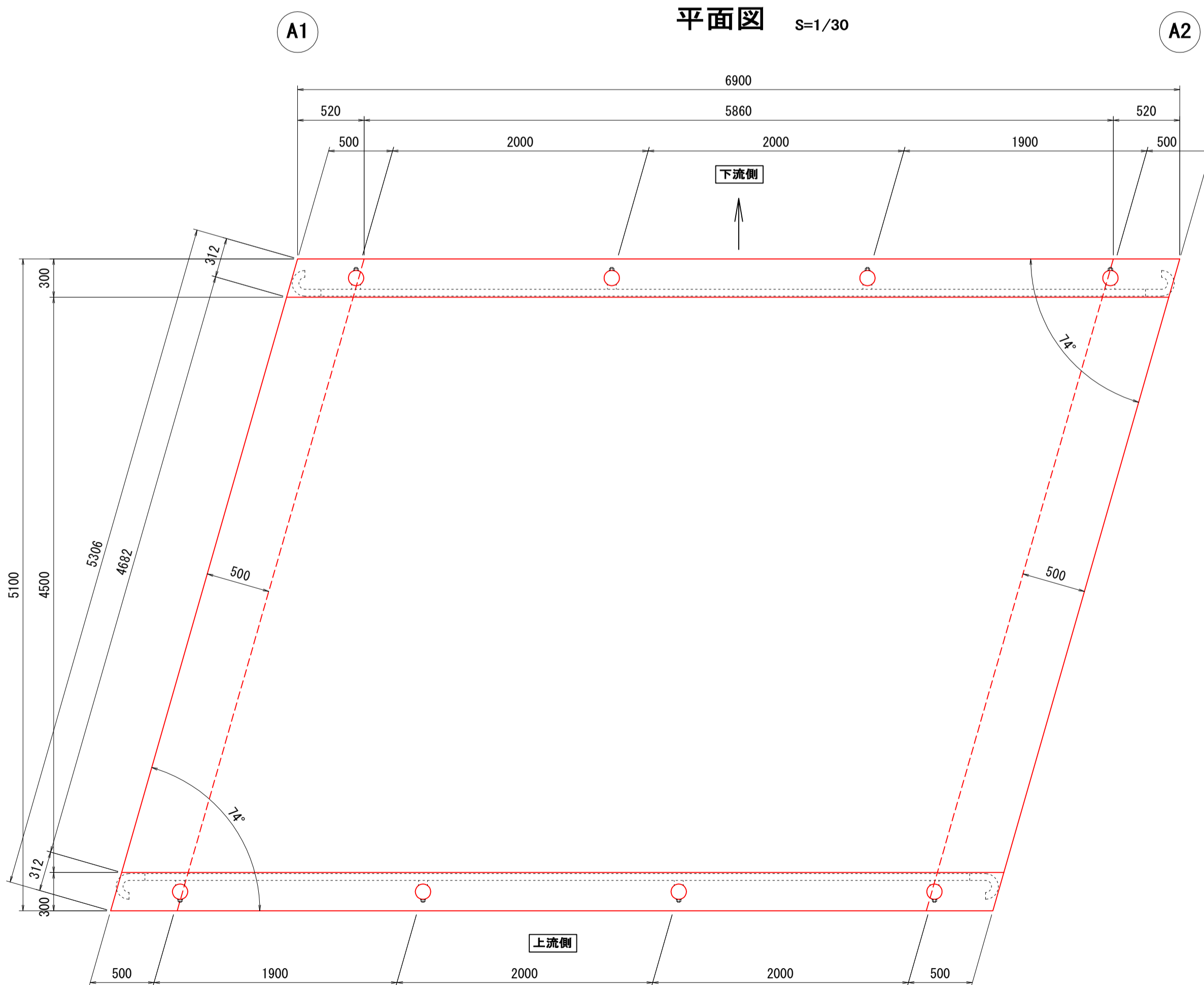
= 6 人



現橋一般図（松尾橋）



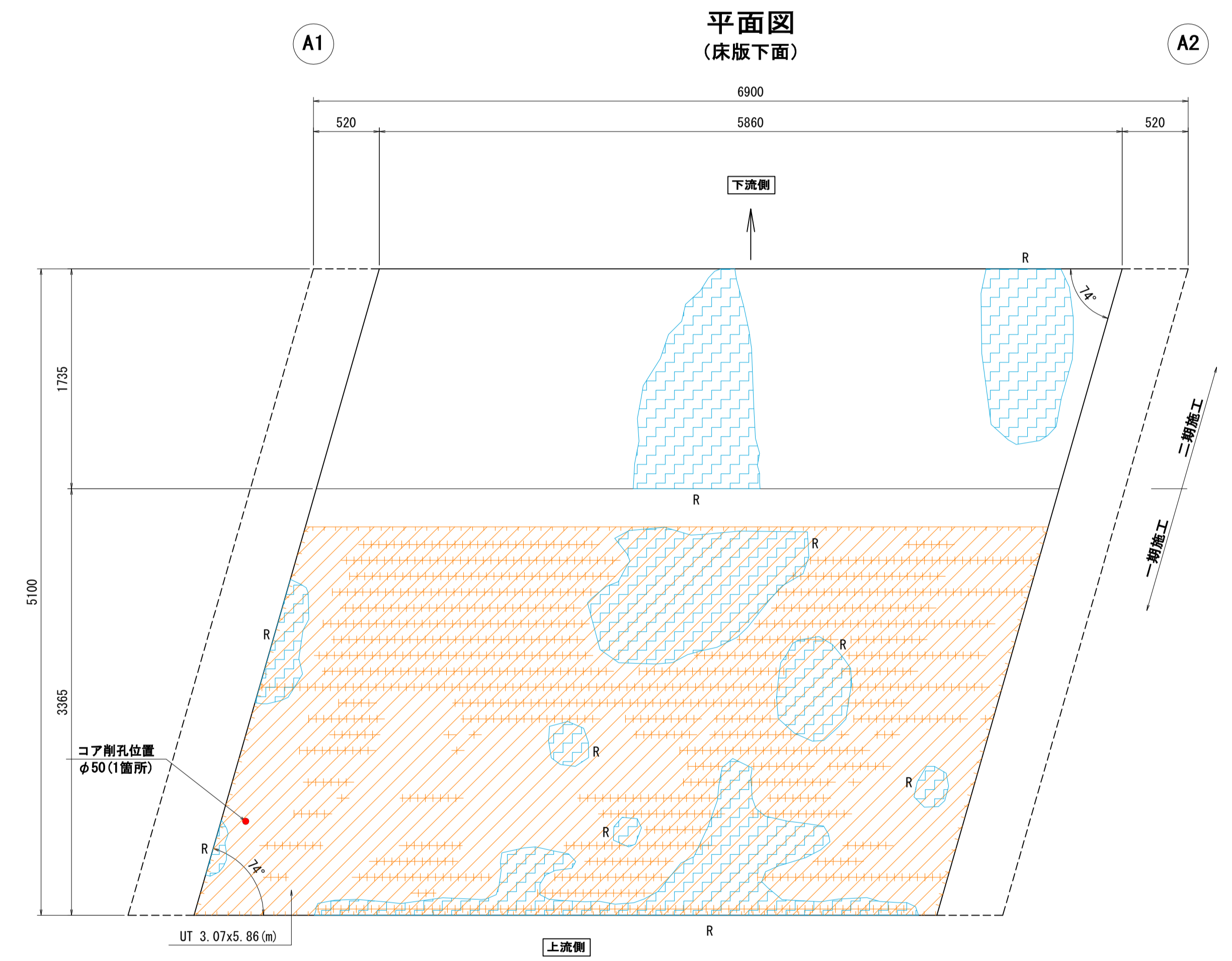
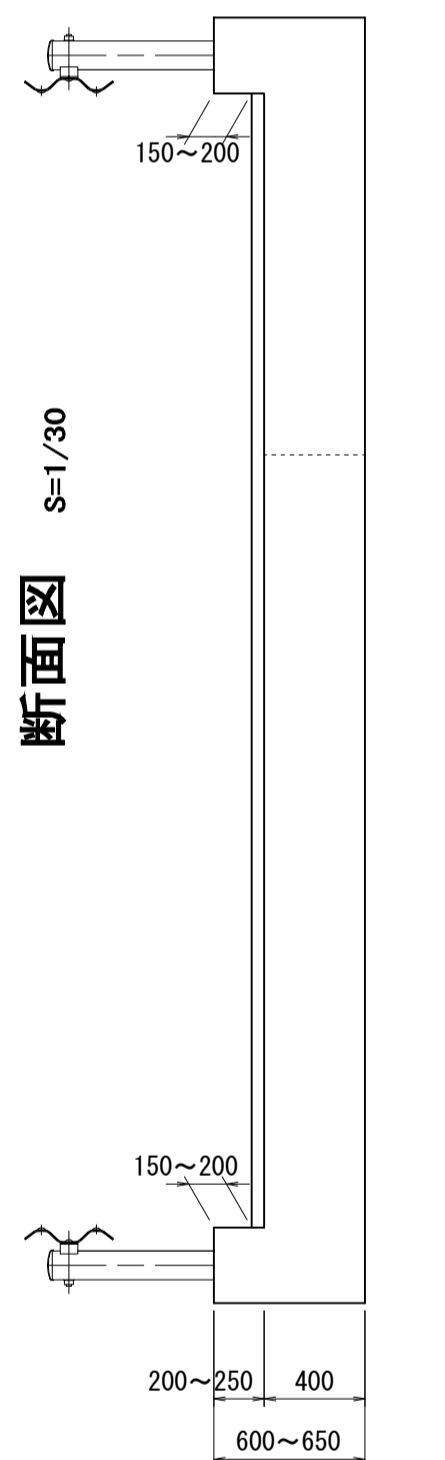
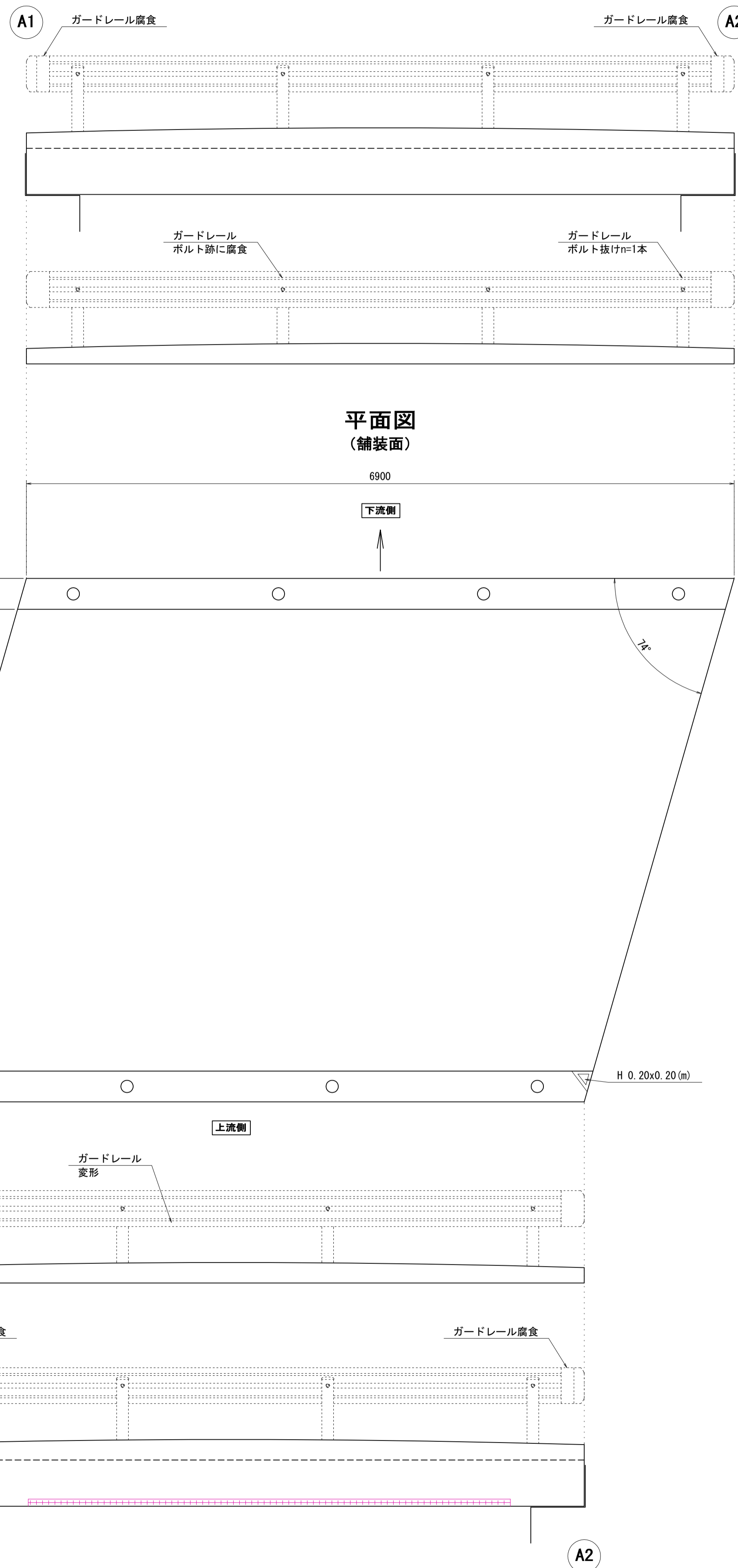
設計条件 (推定)	
橋格	車道橋
所在地	三原市大和町大草
形式	RC単純床版橋
構造形式	RC単純床版橋+重力式橋台
径間数	1径間
橋長	6.900m
桁長	6.900m
幅員	有効幅員 4.500m
斜角	左 74°
平面線形	R=∞
舗装	アスファルト舗装 50mm
設計荷重	床版 T-14 (推定)
添加物	-
鋼材材質	SD24 (想定)
下部工基礎	-
適用指針	土木学会制定 コンクリート標準示方書 (S55年) 道路橋示方書 (S53年)
架設年次	1985年



工事名	橋梁補修工事 (市道大和町松尾線松尾橋)		
図面名	現橋一般図 (松尾橋)		
作成年月日	令和 2年 3月		
縮尺	図示	図面番号	1 / 5
会社名	三原市		
事業者名	建設部 土木整備課 維持改良係		

注記)
1. 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。

損傷図（松尾橋） その1 S=1/30



凡例

C	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)
CS	錆汁を伴うひび割れ (0.2~1.0mm未満)
c	ひび割れ (1.0mm以上)
CS	錆汁を伴うひび割れ (1.0mm以上)
U	コンクリートの浮き
UT	コンクリートの浮き・局部的剥離鉄筋
H	コンクリートの剥離
HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
R	漏水
T	鉄筋露出
M	ジャンカ

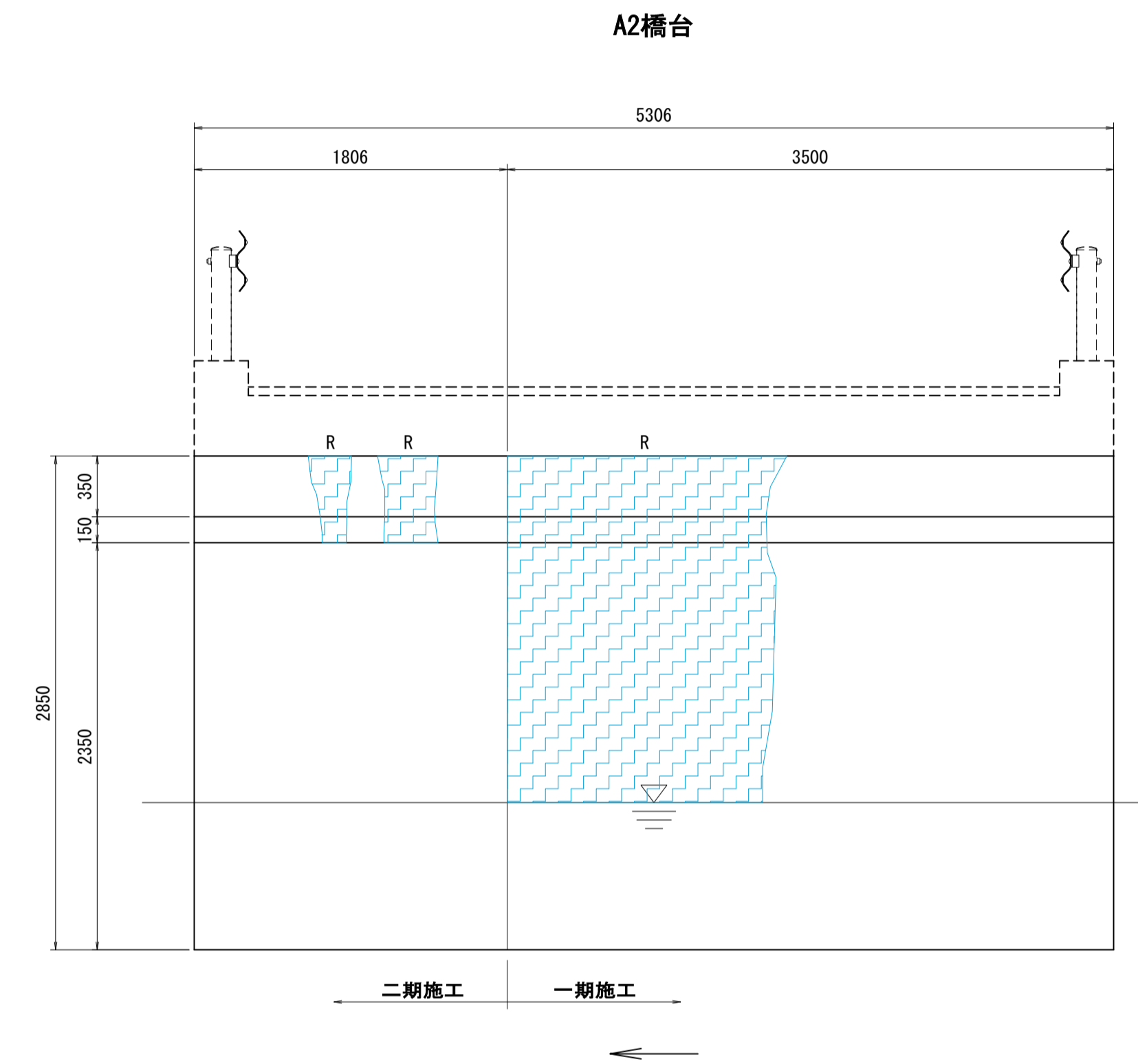
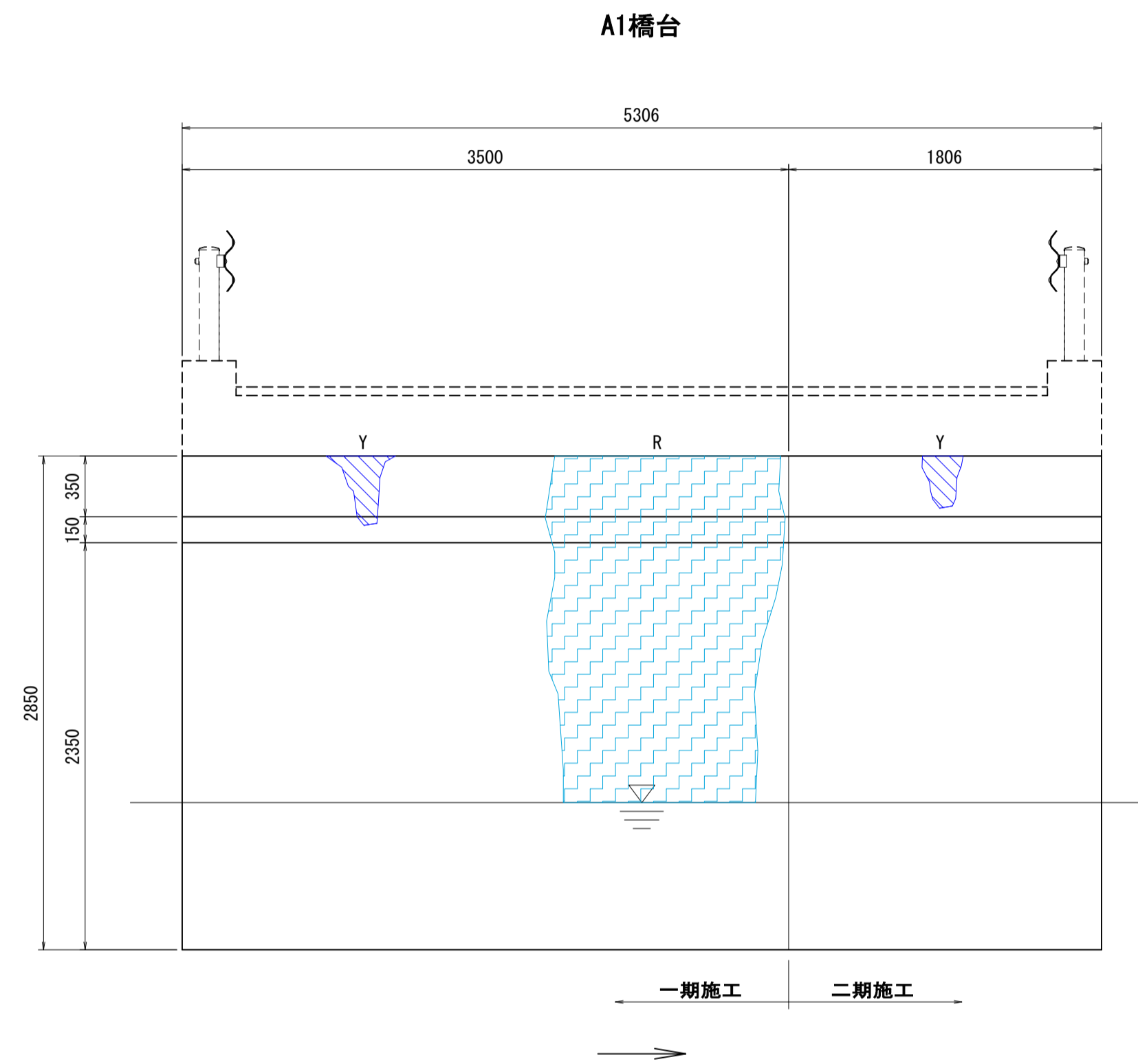
※ひび割れ (0.2mm未満) に関しては対象外とし計上しない。

注記) 1. 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。

工事名	橋梁補修工事 (市道大和町松尾線松尾橋)		
図面名	損傷図 (松尾橋) その1		
作成年月日	令和 2年 3月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 5
会社名	三原市		
事業者名	建設部 土木整備課 維持改良係		

損傷図（松尾橋） その2 S=1/30

橋台正面図



凡 例

	C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)
	CS	錆汁を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)
	c	ひび割れ(1.0mm以上)
	cs	錆汁を伴うひび割れ(1.0mm以上)
	U	コンクリートの浮き
	UT	コンクリートの浮き・局部的剝離鉄筋
	H	コンクリートの剝離
	HT	コンクリートの剝離・鉄筋露出
	Y	遊離石又はエフロレッセンス
	R	漏水
	T	鉄筋露出
	M	ジャンカ

※ひび割れ(0.2mm未満)に関しては対象外とし計上しない。

注記) 1. 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。

工事名	橋梁補修工事（市道大和町松尾線松尾橋）		
図面名	損傷図（松尾橋）その2		
作成年月日	令和 2年 3月		
縮尺	図示	図面番号	3 / 5
会社名	三原市		
事業者名	建設部 土木整備課 維持改良係		